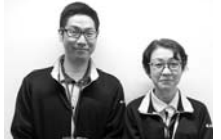


# 要支援向け、日帰りツアー

## 日本人福祉財団 引きこもり防止に貢献

一般財団法人日本人福祉財団(東京都中央区)が運営する介護付有料老人ホーム「大阪、ゆうゆうの里」(大阪府守口市)は、主に要支援や軽度認知症などの入居者向けの日帰りツアー「かたつむりツアー」を実施。入居者の引きこもり防止に貢献している。

春と秋の年2回実施し、参加定員は最大10名。朝8時にバスで出発し、夕方頃に戻る旅行プランだ。費用は1人当たり約2万5000



▲右からサービス課の藤井美紀課長、門田拓也氏

0円。職員1人につき2名の入居者を見る体制となっている。

ツアーの行先は和歌山県や滋賀県などの関西周辺の観光地。9月に実施したツアーでは滋賀県でガラス細工体験を行った。「職員と利用者が一緒に同じものを創作する貴重な時間になりました」とサービス課藤井美紀課長は述べる。

参加者へのアンケート調査では「次回も参加したい」という回答が100%であった。ツアー参加をきっかけに新たな交友関係も生まれる。それにより、ほかのイベントへの参加率も高まり、引きこもりの防止に貢献している。



▲体験ツアーを楽しむ利用者と門田氏

かたつむりツアーには、事務課や他部署の職員もツアーのサポートで参加している。「その結果、部署間のコミュニケーションの敷居が低くなり、多種連携につながった」とサービス課の門田拓也氏は話す。

今後、かたつむりツアーの画では、V体験やドローン操縦など現代の文化を伝えるイベントを検討している。